

平成24年度市民評価委員会評価結果一覧表(環境調和・健康福祉部会)

事業名	部局名	課所名	番号	実施日時
<b>障害者社会参加促進事業</b>	福祉部	地域福祉課	3441-4	第1回 9/13(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する			
総括	障がい者の手足となる、手話・要約筆記通訳者が増えるよう、その前段となる養成講座を受講する人を増やす工夫を検討していただきたい。			
他意見	奉仕員を増やすには、学校教育と連携して、生徒に体験・活動してもらうことも考えるべき。			
質疑	○受講生を集める努力を何かされているのか。 ○派遣される全ての人が資格を持っているのか。			
<b>雨水管渠等建設事業(浸水対策)</b>	環境部	下水道建設課	22-2	第1回 9/13(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する			
総括	16年災害を教訓とし、できるだけ安全策を考慮しながら、浸水地区の解消に向けて、引き続き事業を継続していただきたい。			
他意見	特になし。			
質疑	○具体的にどのような工事を実施するのか。 ○雨量強度53.3mm/hrとは、どのような数値なのか。			
<b>レジ袋削減対策事業</b>	環境部	ごみ減量課	4104-9	第1回 9/13(木)
◇ 自己評価結果	手段を改善する			
◆ 市民評価委員会結果	手段を改善する			
総括	レジ袋削減のために、無料配布中止だけでなく、他の手法で取り組めるよう、市の支援方法を検討していただくとともに、無料配布中止を実施している事業者について、さらなるPRをしていただきたい。			
他意見	レジ袋の収益により寄付された基金から、自治会のごみネットが購入されていることを、市民は誰も知らないのではないか。もっとPRすべき。			
質疑	○協定締結団体の内訳と内容は。 ○無料配布中止をしていない事業者は、経営方針であると思うが、どうなのか。			
<b>環境保全基金積立金</b>	環境部	環境保全課	4220-1	第1回 9/13(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する			
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する			
総括	始まったばかりの事業だが、本来の精神を生かせるよう道筋を作るとともに、様々な意見を聞くなどして、引き続き事業を継続していただきたい。			
他意見	みどりのカーテン事業等は、市政だよりで募集しているのを見かけるが、その時に環境保全基金から充当されていることを記載すべき。指標の記載の仕方を工夫すべき。			
質疑	○いつまでにいくら積み立てて、何に使おうとしているのか。 ○基金の充当は、誰がどのようにして決めるのか。			

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
<b>渦井川水系の環境保全活動事業</b>		環境部	環境保全課	4174-1	第1回	9/13(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	— (補助金)					
総括	川は、市民みんなのものであり、このような活動を継続し、広げていけるよう、行政として、引き続き支援していただきたい。					
他意見	マス釣り大会などは、他の川へ出て行って、大生院以外の人達にも体験してもらおう等、地域の川は地域で守るということを広めていったらいいのでは。					
質疑	○事業費の内容は。 ○他の川で、このような動きはないのか。					
<b>小口資金貸付金</b>		福祉部	児童福祉課	3122-1	第2回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	手段を改善する					
◆ 市民評価委員会結果	手段を改善する					
総括	社会福祉協議会から、新居浜市に実施主体を変更したが、本当に支援の必要な人が借り入れできるように、また、償還にあたっては、実績が上がるよう手段を改善していただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○制度として、貸付金は必要か。 ○財源の内訳は。					
<b>児童虐待防止対策緊急強化事業</b>		福祉部	児童福祉課	3484-1	第2回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	問題が起こってからの対処はもちろんのこと、いかにして情報を得られるか、市民への周知に工夫が必要であり、これからも、早期発見、防止に向けて、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	どこに通報したらいいのかわからない市民も多いのでは、もっと広報して周知徹底すべき。					
質疑	○どういったところから相談があるのか。 ○児童相談所とのかかわりは。					
<b>わたきり老人等衛生品支給事業</b>		福祉部	介護福祉課	173-1	第2回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	介護者の経済的・精神的負担の軽減になっていることから、現状のまま継続していただきたい。					
他意見	成果指標について、比較するためにも、前年度の数字を入れてほしい。					
質疑	○利用者が減っているのに、経費が下がってないのはなぜか。 ○一人当たり、年間どのくらいの費用が必要か。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
<b>地域福祉基金積立金</b>		福祉部	介護福祉課	3209-1	第2回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	積立金額の表示方法について検討するとともに、地域福祉の向上に向け、現状のまま継続していただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○積立金をどこに使うのかは、どこで決めるのか。 ○今後、利子の範囲内で使っていくのか、積極的に使っていくかの判断は。					
<b>高齢者保健福祉計画策定事業</b>		福祉部	介護福祉課	134-1	第2回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	国が示す基本指針に即し、3年ごとに、介護保険事業にかかわる保険給付の円滑な実施に関する計画を策定しなければならないため、現状のまま継続していただきたい。					
他意見	せっかく作ったのだから、もっと皆の目に触れる機会を作ってはどうか。					
質疑	○このプランの中で、新居浜らしさとは。 ○何部作って、どういったところに配るのか。					
<b>針灸事業</b>		福祉部	国保課	3458-3	第3回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	国民健康保険同様、後期高齢者医療被保険者にも、健康の保持・増進のため、はり・きゅうの施術が受けられるよう、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○希望者はだれでも受けられるのか。 ○利用者一人当たりの利用回数は。					
<b>健康都市づくり推進事業</b>		福祉部	保健センター	4010-1	第3回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	健康都市づくり推進員を育成し、健康づくりのリーダーとして、地域で活動してもらうことで、健康づくりが広く市民に普及するよう、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○現状維持といいながら、予算が倍増しているのは。 ○推進員88名の構成は。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
<b>救急医療体制運営事業委託</b>		福祉部	保健センター	4013-1	第3回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	医師の高齢化・後継者不足の中、維持していくことが難しい状況となっているのは理解できるが、現在の体制が維持できるよう医師の確保に努めていただくとともに、市民への安定的な医療が提供できるよう、現状のまま継続していただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○1日当たりの利用者数は。 ○医師の高齢化・医師不足の今後の見通しは。					
<b>浮川健康づくり基金積立金</b>		福祉部	保健センター	4161-1	第3回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	今後、市民の健康づくりのための事業が行えるよう検討しながら、現状のまま継続していただきたい。					
他意見	基金については、積立額が分かるよう、表示の仕方を検討してもらいたい。					
質疑	○これまで、何かの事業に使ったのか。 ○今後、この基金の使い方について、何か考えているのか。					
<b>精神保健推進事業</b>		福祉部	保健センター	4225-1	第3回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	重点化する					
◆ 市民評価委員会結果	重点化する					
総括	自殺が増えつつある若年層も対象に加え、心の教室の講演やゲートキーパーによる見守り体制を強化し、自殺やうつ病の早期発見・早期予防に繋がるよう、重点化して取り組んでいただきたい。					
他意見	ゲートキーパー養成について、今後は対象者を拡大し、市民へ広く周知啓発してもらいたい。					
質疑	○重点化するとあるが、何を重点化するのか。 ○講座の講師は、どういった方に依頼しているのか。					